

青年訓練所の 教練査閲を執行

執行官は高山少佐

石城郡内の豫定日割

福島聯隊司令部では管内縣下各地の青年訓練所に對し來る十一月十八日から本年度教練査閲を行ふこととなつたがこの査閲人員約二萬五千七百名で十二月十五日まで終了の豫定である、査閲注意は十三日同司令部から各青年訓練所に通達されたが石城郡内の日割左の如くである

社告

川崎本社社長は昨紙所載の挨拶の通り本日午前十時五十分平驛發にて上京の途に着きました、廿日間滞在の豫定でありますから留守中よろしく願ひ上げます
十月十四日
常磐毎日新聞社

少年野球大會 いはらき主催 愈々切迫す

いはらき新聞中支局主催の第六回遠三郡少年野球大會は愈々明後十六日の目途に迫つた従來の石城郡に双、相二郡を加へその範圍を廣

大森氏入選

白井氏の令甥

帝展第二部西洋畫は十日午後五時鑑査を終了七時入選

筑紫路だより

大濱小學校

大濱小學校を視察す。大名校とは全く主義を異にして所謂新しい教授を標榜する所なり。生憎校長原出千之氏病缺で主席も他出、唯校舍を一巡して後尋三美術教授を一時間のぞく。研究調査物を一覽して辭す

太宰府の飛梅

東風よかば匂ひおこせよ梅の花、主なしとて春をわするな
何といふ哀情溢れたる歌であります。一行は今この社前にぬがづいて菅公の英

張した第一次の年として範圍擴張の計劃發表以來最初から遠來の強チームをむかへ花々しき接戦を試みんと決意せる石城郡下選手の意氣頗る壯とすべきものあり目下の處同方面の代表的少年野球團を以て目せられつゝ

眞に近來の不祥事と 斷乎退學の處分

大膽にも時計を萬引
平署極秘裡に取調中
平町立平商業學校三年生西山請(一)(假名)警城中學校二年生佐藤市郎(一)(假名)兩名は去る六月中石城中學を素行不良で退學した元石城中學二年生宮田正(一)ととも石城郡内郷村字宮から通學中平町四丁目會田時計店他二ヶ所で腕時計價格廿圓位のもの二個づつ窃取したと發覺西山、佐藤兩名はともに去る八日退學したが十日來平署では極秘裡に取調へ中

苦學目的の 土工の群へ

平相談所の同情
で山形縣へ歸る
山形縣東置賜郡小田元村大字小玉字小關町一六〇戸主長太郎二男間寛次郎(一)は昨年三月中苦學の目的で上京し電氣學校に入學したが豫ての想像に反し勞働時間長くおまけに學費に窮したので土工の群に入り栃木縣宇都宮市等を経て石城郡勿來炭礦等に流れ込み同礦片去り醬油につけておきネギの細切りと、松茸若しくはシメジのあら切りをまかせて背中から一パイにつめハロン紙パラピン紙にゴマ油を敷いて巻包みにしワ灰の中か天火で焼きます、焼けた處で紙をとり半分は切つて皿に盛り青菜のシタシ物等を添へてすゝめます

新米初取引

古米と大差なし
十日湯本町にて
石城地方の新米初取引は十日湯本町に於て行はれた相場は十三圓五十錢で目下湯本町方面は盛んに出廻つてゐるが種類は八重岡で本年新米は乾燥調製等に遺憾の點あるも相場は古米に大差ない

坂田警視 赤門出の秀才

働き盛りの
大阪府屬から警視に昇進して本縣保安課長に榮轉した坂田喜一郎氏は本縣農商課事務官里見富治氏と同窓の大正十三年帝大獨法科卒業後直に大阪府屬に任命されて教育課兼地方勤務を命ぜられた人で先づ働き盛りの男なそうである



サンマ料理

家族八人と見てサンマ四本位が適當です、サンマを背中からタチ割つて中の骨を

久留米耕の開祖

熊本着を一時間延して、久留米に下車寛政の三奇人の一人高山彦九郎公の墓に詣づ、墓石は暮色靄然たる中に立つ禮拜して焼香す銅像建設工事中なり。一町程はなれて井上傳女の墓あり寺僧に案内されて參詣す、一婦人の力よく現今耕の産額を示す。偉なるかな、傳女の力

詩の展覽會

十五六の兩日
石城郡在住の詩を作る若人達が十五六の兩日南町日本キリスト教會堂に於て詩及び參考品の展覽會を備す由

警官斬犯人

懲役一年判決
石城郡内郷村大字宮警城炭礦機械佐藤友藏(一)は去月中植木を窃取した事發見され平署の高橋、安西兩巡查取り押へられんとする時短刀を振るつて斬り付け大格闘の末遂に取押へられ取り調の後過般送檢されたが十三日平區裁判所に於て懲役一年を言ひ渡された

白岩の松茸

茸狩りに
東京方面から
石城郡大野村白岩の松茸山

平町人事

▲出生
△仲間町二六 荻桑義氏五女美和子
△長橋町一五 小野國治氏五女アイ子